

旧香川県立体育館における 吹付けアスベストの検出について

旧香川県立体育館の解体工事の着手前に、建物内部の調査を実施し、吹付けアスベストの可能性のある仕上材について確認のため、専門機関による分析を行った結果、アスベストを含有した吹付け材であることが判明しました。

なお、建物内外における空気中のアスベストの濃度測定を行ったところ、空気中への飛散は確認されませんでした。

1 施設の所在地等

- 所在地：高松市福岡町2丁目18-26
- 竣工時期：昭和39年8月
- 構造・規模：体育館 鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 延べ面積 5,423.30 m²
駐輪場 鉄筋コンクリート造 平屋建 延べ面積 62.05 m²

2 吹付けアスベスト検出箇所、種類等

| 場所 | 面積 | アスベストの種類 |
|---------------|----------------------|----------|
| 体育館M2階 ホール 天井 | 116.8 m ² | クリソタイル |
| 体育館M2階 役員室 天井 | 14.8 m ² | クリソタイル |

3 今後の対応

関係法令（大気汚染防止法、労働安全衛生法）に基づき、監督官庁への手続きを行い、解体工事の中で、適切に除去します。

4 経緯

- 1月14～15日 施工業者が現地調査を実施し、吹付けアスベストの可能性のある仕上げ材について、専門機関にアスベスト分析を依頼
- 1月27日 分析の結果、アスベストが含有されていることが判明
- 2月6日 施工業者が専門機関に依頼し、建物内外の空気中の濃度測定を実施
- 2月12日 濃度測定の結果、空気中への飛散がないことを確認